

令和3年度

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

江別市立小・中学校における調査結果

I	調査の概要	1 ~ 2
II	体格と肥満度に関する調査の結果	
1	小学校	3
2	中学校	4
III	実技検査の結果	
1	小学校	5 ~ 6
2	中学校	7 ~ 8
IV	児童・生徒質問紙調査の結果	
1	小学校	9 ~ 11
2	中学校	12 ~ 14
V	学校質問紙調査の結果	15 ~ 17



江別市教育委員会

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

I 調査の概要

1 調査の目的

子どもの体力・運動能力等の状況に鑑み、全国的な子どもの体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査対象学年

小学校第5学年、中学校第2学年

3 調査の内容

①児童・生徒に対する調査

ア、実技に関する調査（測定方法等は新体力テストの方法による。）

〔小学校8種目〕握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

〔中学校8種目〕握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走／20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ
(持久走か20mシャトルランのどちらかを選択)

イ、質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

②学校に対する質問紙調査

ア、子どもの体力・運動能力等の向上に関する取組の調査

イ、実施状況に関する調査

4 調査期間

令和3年4月から令和3年7月末までの期間で実施

5 参加状況（公立学校）

	小学校		中学校	
	学校数	児童数	学校数	生徒数
全国	19,725校	1,032,357人	10,575校	977,456人
北海道(札幌市を含む)	990校	38,872人	599校	36,308人
江別市	17校	981人	8校	857人

6 用語解説

体力テスト種目		単位	体力要素	測定
①	握力	kg	筋力	左右握力の平均値
②	上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数
③	長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
④	反復横とび	点	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数
⑤	20mシャトルラン 持久走（中学校選択）	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数
		秒	全身持久力・長距離走能力	男子1500m、女子1000mの走行時間
⑥	50m走	秒	疾走能力	50mの疾走時間
⑦	立ち幅とび	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離
⑧	ソフトボール投げ（小学校）	m	巧緻性・投球能力	ソフトボールを遠投した距離
	ハンドボール投げ（中学校）	m	巧緻性・投球能力	ハンドボールを遠投した距離
体力合計点		点	8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点	
総合評価		5段階	8種目の体力テストの合計得点の良い方から、ABCDEの5段階で評定した体力の総合評価	

用語	解説
標本数	平均値、標準偏差、T得点を算出した人数
平均値	調査結果（テスト成績）の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。「平均値=調査結果の総和/標本数」
標準偏差	調査結果の個人差の大きさを示す。平均値±標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。 平均値±標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る。 「標準偏差=分散の平方根、分散=偏差平方和/(標本数-1)、 偏差平方和=偏差の平方の総和、偏差=調査結果-平均値」
T得点	全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。 平均値50点、標準偏差10点の標準得点。「T得点=50+10×(調査結果-平均値)/標準偏差」

* 公立校の全国・都道府県の値は、公立校を対象としたものです。

* 国立校および私立校の全国値は、国立・公立・私立校を対象とし、都道府県の値は表示されません。

<標準体重と肥満度判定> 「児童・生徒の健康診断マニュアル（平成27年度改訂版）」より
平成27年8月25日発行 財団法人日本学校保健会

$$\text{標準体重} = a \times \text{身長 (cm)} - b$$

$$\text{肥満度 (\%)} = \left[\frac{\text{自分の体重 (kg)} - \text{標準体重 (kg)}}{\text{標準体重 (kg)}} \right] \times 100$$

標準体重を求める係数

年齢	男子		女子	
	a	b	a	b
9（小4）	0.687	61.390	0.652	56.992
10（小5）	0.752	70.461	0.730	68.091
11（小6）	0.782	75.106	0.803	78.846
12（中1）	0.783	75.642	0.796	76.934
13（中2）	0.815	81.348	0.655	54.234
14（中3）	0.832	83.695	0.594	43.264

判定基準

肥満度	判定
20%以上	肥満
19.9～-19.9%	普通
-20%以下	痩身

※平成18年度以降、算出・判定方法は変更していない。

Ⅱ-1 体格と肥満度に関する調査の結果(小学校)

〈小学校〉

○体格について、「身長」は、男女共全国平均とほぼ同程度である。本市令和元年度の実測値との比較では、男子が0.17cm下回り、女子は0.87cm上回っている。「体重」は、男子が全国平均をやや上回り、女子は全国平均とほぼ同程度である。本市令和元年度の実測値との比較では、男子が0.34kg、女子は0.81kg上回っている。

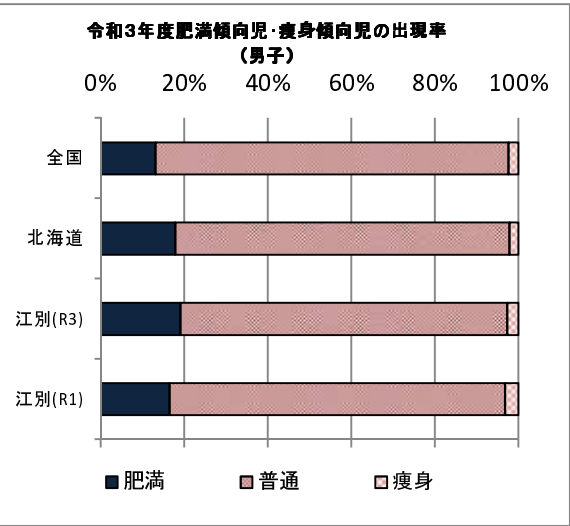
○肥満・痩身傾向について、男子の肥満傾向は全国平均を6.0ポイント上回り、痩身傾向も0.3ポイント上回っている。本市令和元年度の実測値との比較では、肥満傾向は男子が2.6ポイント上回り、痩身傾向は0.5ポイント下回っている。女子の肥満傾向は全国平均を0.9ポイント上回り、痩身傾向も1.4ポイント上回っている。本市令和元年度の実測値との比較では、肥満傾向は0.9ポイント下回り、痩身傾向は1.0ポイント上回っている。

○運動量が減少すると体重の増加や肥満傾向につながるため、学校・家庭では「日常の運動の奨励」や「食育の指導」などの取組を継続していく必要がある。

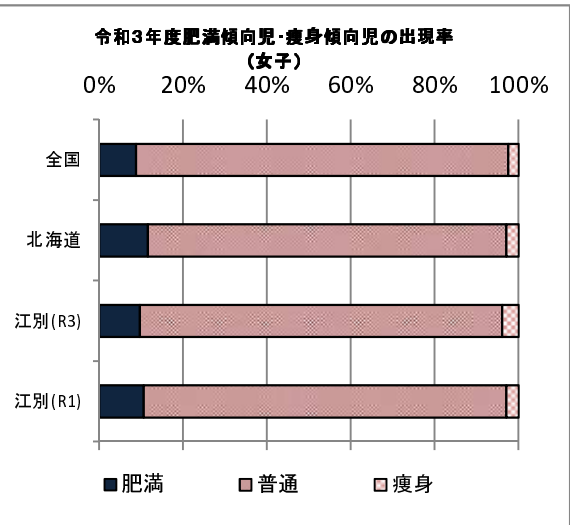
※全国の平均値に対する相対的な位置(T得点: 全国平均が50.0)と本市との差を、次の通り表記しています。

- ①2点を超えて高い……上回っている ②1点超～2点……やや上回っている ③+1点以内……ほぼ同程度
④-1点超～-2点……やや下回っている ⑤-2点を超えて低い……下回っている

小学校男子		全国	北海道	R3江別	T得点	R1江別	T得点
身長(cm)		139.29	139.77	139.28	50.0	139.45	50.9
体重(kg)		35.08	36.38	36.17	51.4	35.83	52.0
肥満・痩身 傾向児の 出現率(%)	肥満	13.1%	17.9%	19.1%	/	16.5%	/
	普通	84.5%	80.0%	78.2%	/	80.3%	/
	痩身	2.4%	2.1%	2.7%	/	3.2%	/



小学校女子		全国	北海道	R3江別	T得点	R1江別	T得点
身長(cm)		140.90	141.43	141.51	50.9	140.64	50.8
体重(kg)		34.90	35.69	35.60	51.0	34.79	51.0
肥満・痩身 傾向児の 出現率(%)	肥満	8.8%	11.6%	9.7%	/	10.6%	/
	普通	88.7%	85.5%	86.4%	/	86.4%	/
	痩身	2.5%	2.9%	3.9%	/	2.9%	/



Ⅱ-2 体格と肥満度に関する調査の結果(中学校)

〈中学校〉

○体格について、「身長」は男女共全国平均とほぼ同程度である。本市令和元年度調査の実測値との比較では、男子は0.14cm、女子は0.36cm下回っている。「体重」は男子は全国平均とほぼ同程度で、女子はやや下回っている。本市令和元年度調査の実測値との比較では、男子は0.14kg上回り、女子は0.73kg下回っている。

○肥満・痩身傾向について、男子の肥満傾向は全国平均と同じで、痩身傾向は1.2ポイント上回っている。本市令和元年度調査と比較して肥満傾向で2.1ポイント上回り、痩身傾向も0.5ポイント上回っている。女子の肥満傾向は全国平均を1.7ポイント下回り、痩身傾向は0.7ポイント上回っている。本市令和元年度調査の実測値との比較では、肥満傾向は0.4ポイント下回り、痩身傾向は1.9ポイント上回っている。

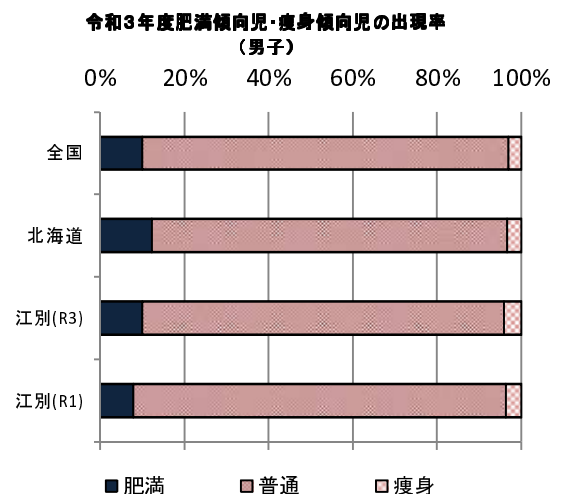
○小学校と同様に、学校・家庭では「日常の運動の奨励」や「食育の指導」などの取組を継続していく必要がある。

※全国の平均値に対する相対的な位置(T得点:全国平均が50.0)と本市との差を、次の通り表記しています。

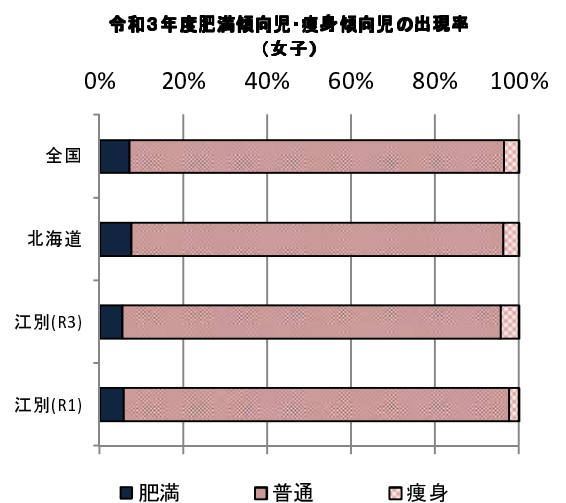
①2点を超えて高い……上回っている ②1点超～2点……やや上回っている ③+1点以内……ほぼ同程度

④-1点超～-2点……やや下回っている ⑤-2点を超えて低い……下回っている

中学校男子		全国	北海道	R3江別	T得点	R1江別	T得点
身長(cm)		160.62	161.68	161.12	50.7	161.26	51.6
体重(kg)		49.70	51.10	49.69	50.0	49.55	50.7
肥満・痩身傾向児の出現率(%)	肥満	10.0%	12.2%	10.0%	/	7.9%	/
	普通	87.0%	84.3%	85.8%	/	88.4%	/
	痩身	3.0%	3.4%	4.2%	/	3.7%	/



中学校女子		全国	北海道	R3江別	T得点	R1江別	T得点
身長(cm)		154.90	155.32	154.97	50.1	155.33	50.9
体重(kg)		47.01	47.25	46.06	48.7	46.79	50.0
肥満・痩身傾向児の出現率(%)	肥満	7.1%	7.5%	5.4%	/	5.8%	/
	普通	89.3%	88.8%	90.4%	/	91.9%	/
	痩身	3.6%	3.7%	4.3%	/	2.4%	/



Ⅲ-1 実技検査の結果(小学校男子)

＜小学校男子＞

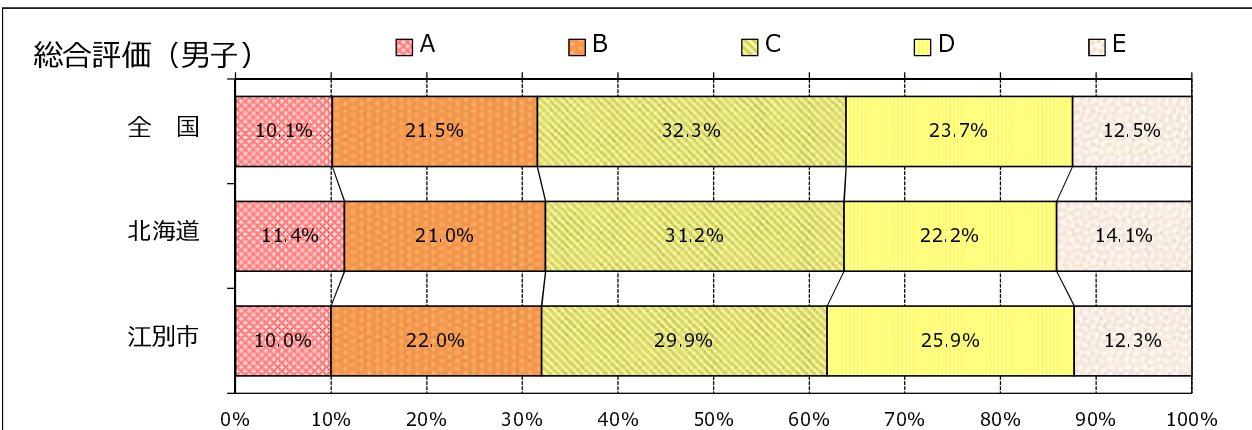
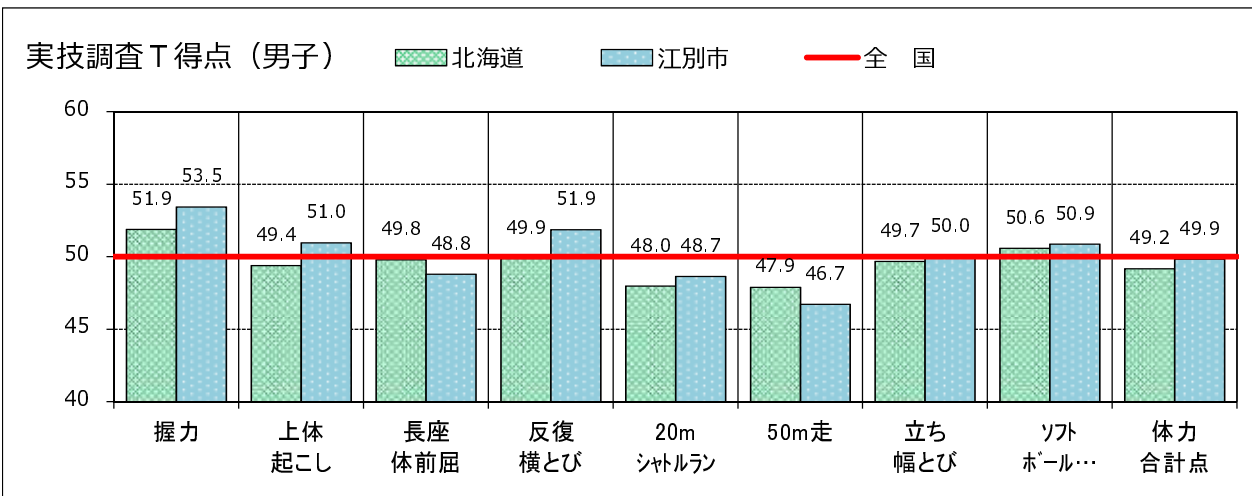
○「握力」は全国平均を上回り、「反復横とび」はやや上回っている。「上体起こし」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」は全国平均とほぼ同程度であるが、「長座体前屈」「20mシャトルラン」は全国平均をやや下回り、「50m走」は下回っている。

○「50m走」が全国平均を下回り、「20mシャトルラン」が全国平均をやや下回っていることから、「疾走能力」や「全身持久力」を上げる取組を推進する必要がある。また、体の柔らかさを示す「長座体前屈」が全国平均をやや下回っていることから、柔軟性を高める取組も推進していかなければならない。

※全国の平均値に対する相対的な位置(T得点:全国平均を50.0)と本市との差を、次の通り表記しています。

- ①2点を超えて高い……上回っている ②1点超～2点……やや上回っている ③+-1点以内……ほぼ同程度
④-1点超～-2点……やや下回っている ⑤-2点を超えて低い……下回っている

小学校男子	全国	北海道	R3江別市	T得点	R1江別市	T得点
握力(kg)	16.22	16.96	17.56	53.5	17.97	54.3
上体起こし(回)	18.90	18.52	19.48	51.0	19.88	50.1
長座体前屈(cm)	33.48	33.29	32.45	48.8	31.59	48.0
反復横とび(点)	40.35	40.26	41.93	51.9	42.34	50.7
20mシャトルラン(回)	46.83	42.71	44.04	48.7	48.72	49.2
50m走(秒)	9.45	9.68	9.80	46.7	9.67	47.6
立ち幅とび(cm)	151.41	150.80	151.42	50.0	153.70	51.0
ソフトボール投げ(m)	20.58	21.07	21.29	50.9	22.15	50.7
体力合計点(点)	52.52	51.80	52.38	49.9	53.61	50.0
総合評価(%)	A	10.1%	11.4%	10.0%		12.5%
	B	21.5%	21.0%	22.0%		20.8%
	C	32.3%	31.2%	29.9%		35.2%
	D	23.7%	22.2%	25.9%		21.7%
	E	12.5%	14.1%	12.3%		9.8%



Ⅲ-1 実技検査の結果(小学校女子)

<小学校女子>

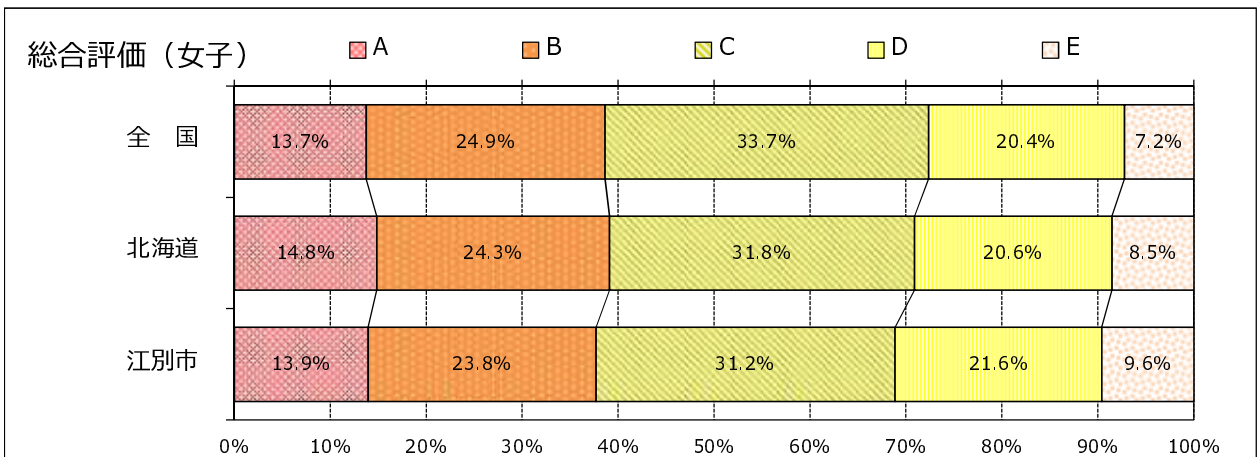
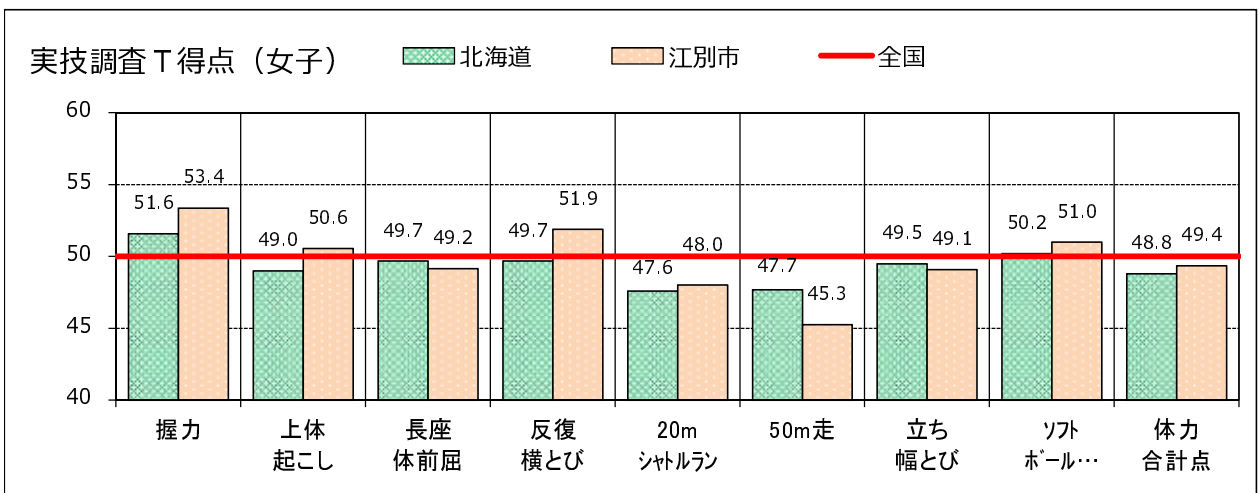
○「握力」は全国平均を上回り、「反復横とび」はやや上回っている。「上体起こし」、「長座体前屈」、「立ち幅とび」、「ソフトボール投げ」はほぼ同程度であるが、「20mシャトルラン」はやや下回り、「50m走」は全国平均を下回っている。

○「50m走」が全国平均を下回り、「20mシャトルラン」がやや下回っていることから、疾走能力や全身持久力の改善に向けた取組を推進する必要がある。

※全国の平均値に対する相対的な位置(T得点:全国平均を50.0)と本市との差を、次の通り表記しています。

- ①2点を超えて高い……上回っている ②1点超～2点……やや上回っている ③+-1点以内……ほぼ同程度
 ④-1点超～-2点……やや下回っている ⑤-2点を超えて低い……下回っている

小学校女子	全国	北海道	R3江別市	T得点	R1江別市	T得点
握力(kg)	16.09	16.71	17.40	53.4	17.47	53.6
上体起こし(回)	18.08	17.54	18.38	50.6	18.65	49.4
長座体前屈(cm)	37.90	37.67	37.15	49.2	36.14	48.3
反復横とび(点)	38.72	38.46	40.16	51.9	40.60	50.6
20mシャトルラン(回)	38.15	34.33	34.96	48.0	37.13	47.8
50m走(秒)	9.64	9.84	10.06	45.3	9.81	48.0
立ち幅とび(cm)	145.18	144.03	143.21	49.1	147.46	50.9
ソフトボール投げ(m)	13.30	13.39	13.77	51.0	14.18	51.2
体力合計点(点)	54.64	53.56	54.08	49.4	55.25	49.6
総合評価(%)	A	13.7%	14.8%	13.9%		15.3%
	B	24.9%	24.3%	23.8%		25.3%
	C	33.7%	31.8%	31.2%		33.8%
	D	20.4%	20.6%	21.6%		20.2%
	E	7.2%	8.5%	9.6%		5.5%



Ⅲ-2 実技検査の結果(中学校男子)

<中学校男子>

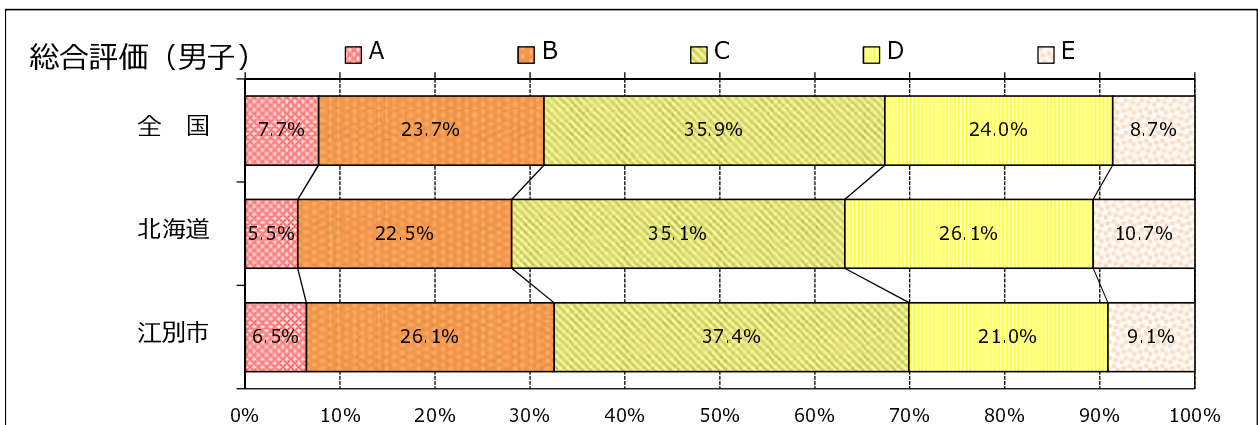
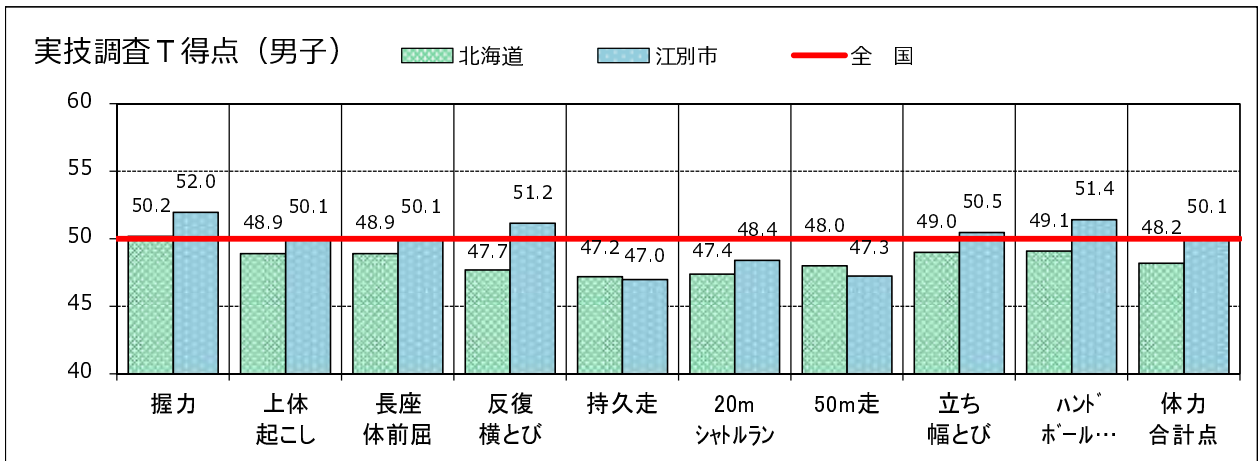
○「握力」「反復横とび」「ハンドボール投げ」は全国平均をやや上回り、「上体起こし」「長座体前屈」「立ち幅とび」は全国平均とほぼ同程度であるが、「20mシャトルラン」は全国平均をやや下回り、「持久走」「50m走」は下回っている。

○「持久走」「50m走」が全国平均を下回り、「20mシャトルラン」がやや下回っていることから、「疾走力」や全身持久力・長距離走能力を上げる取組を推進する必要がある。

※全国の平均値に対する相対的な位置(T得点:全国平均を50.0)と本市との差を、次の通り表記しています。

- ①2点を超えて高い……上回っている ②1点超～2点……やや上回っている ③+1点以内……ほぼ同程度
 ④-1点超～-2点……やや下回っている ⑤-2点を超えて低い……下回っている

中学校男子	全国	北海道	R3江別市	T得点	R1江別市	T得点
握力(kg)	28.80	28.96	30.22	52.0	31.11	53.4
上体起こし(回)	25.99	25.29	26.04	50.1	28.11	51.9
長座体前屈(cm)	43.67	42.44	43.80	50.1	43.97	50.4
反復横とび(点)	51.19	49.27	52.17	51.2	53.18	51.5
持久走	406.38	425.81	427.66	47.0	414.78	47.6
20mシャトルラン(回)	79.88	73.28	75.87	48.4	83.70	50.1
50m走(秒)	8.01	8.19	8.26	47.3	8.15	48.5
立ち幅とび(cm)	196.36	193.34	197.76	50.5	201.61	52.3
ハンドボール投げ(m)	20.31	19.77	21.14	51.4	22.02	52.8
体力合計点(点)	41.18	39.31	41.24	50.1	43.83	52.1
総合評価(%)	A	7.7%	5.5%	6.5%		12.4%
	B	23.7%	22.5%	26.1%		30.8%
	C	35.9%	35.1%	37.4%		33.0%
	D	24.0%	26.1%	21.0%		15.9%
	E	8.7%	10.7%	9.1%		7.9%



Ⅲ-2 実技検査の結果(中学校女子)

〈中学校女子〉

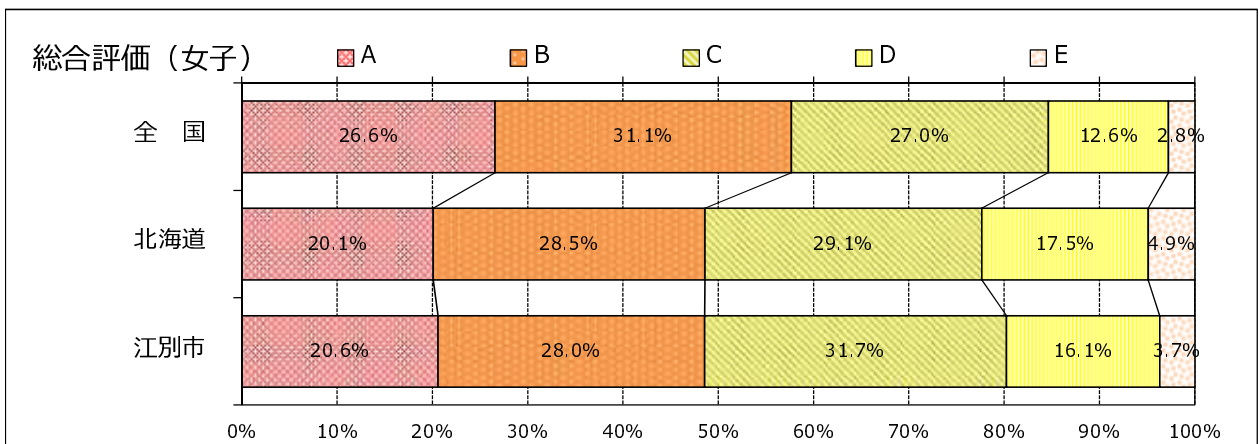
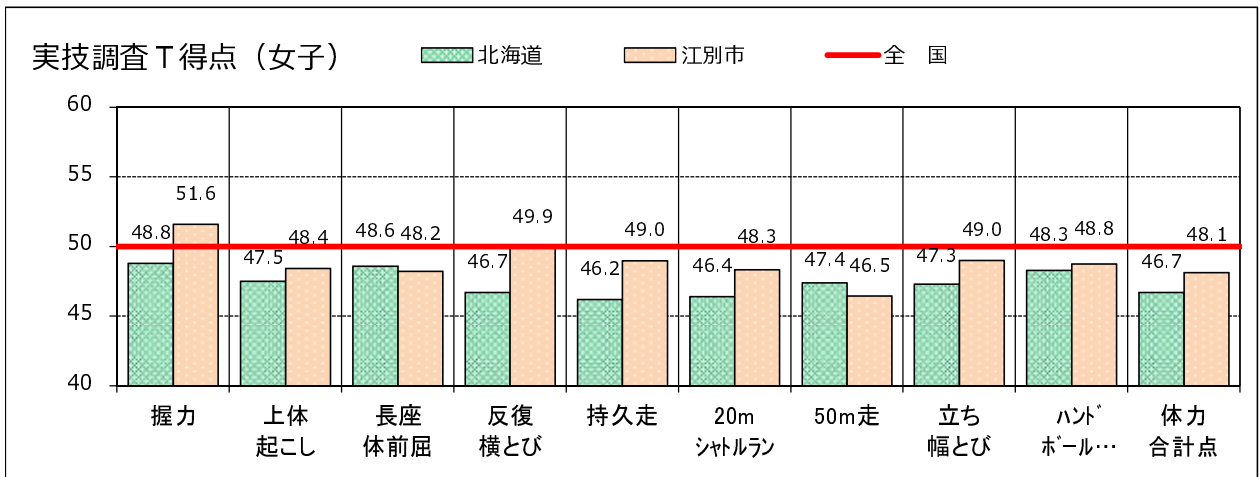
○「握力」は全国平均をやや上回っている。「反復横とび」、「持久走」、「立ち幅とび」は全国平均とほぼ同程度である。「上体起こし」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「ハンドボール投げ」はやや下回り、「50m走」は下回っている。

○「50m走」が全国平均を下回っていることから、疾走能力を上げる取組を推進する必要がある。また、「持久走」や「20mシャトルラン」では全身持久力・長距離走能力、「上体起こし」については筋パワー・筋持久力、「長座体前屈」については柔軟性、「ハンドボール投げ」については巧緻性・投球能力の改善に向けた取組が求められる。

※全国の平均値に対する相対的な位置(T得点:全国平均を50.0)と本市との差を、次の通り表記しています。

- ①2点を超えて高い……上回っている ②1点超～2点……やや上回っている ③+1点以内……ほぼ同程度
 ④-1点超～-2点……やや下回っている ⑤-2点を超えて低い……下回っている

中学校女子	全国	北海道	R3江別市	T得点	R1江別市	T得点
握力(kg)	23.43	22.87	24.18	51.6	25.30	53.3
上体起こし(回)	22.32	20.86	21.41	48.4	23.19	49.1
長座体前屈(cm)	46.20	44.77	44.38	48.2	44.97	48.7
反復横とび(点)	46.25	43.91	46.20	49.9	46.74	49.2
持久走	297.62	315.30	302.31	49.0	254.00	58.3
20mシャトルラン(回)	54.24	47.02	50.94	48.3	55.40	48.5
50m走(秒)	8.88	9.10	9.17	46.5	8.98	47.9
立ち幅とび(cm)	168.15	161.26	165.63	49.0	171.19	50.5
ハンドボール投げ(m)	12.72	11.99	12.20	48.8	12.76	49.5
体力合計点(点)	48.56	44.77	46.44	48.1	49.39	49.2
総合評価(%)	A	26.6%	20.1%	20.6%		31.7%
	B	31.1%	28.5%	28.0%		26.9%
	C	27.0%	29.1%	31.7%		28.3%
	D	12.6%	17.5%	16.1%		10.8%
	E	2.8%	4.9%	3.7%		2.3%



IV-1 児童質問紙調査の結果(小学校)

<運動習慣の状況>

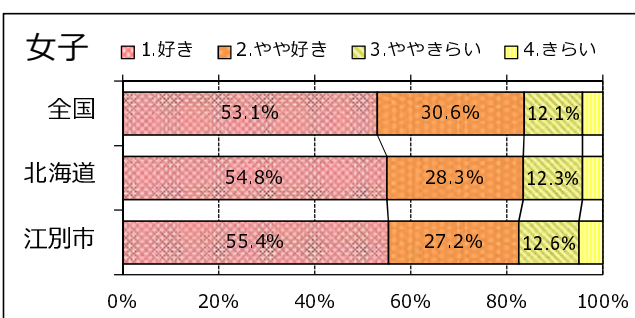
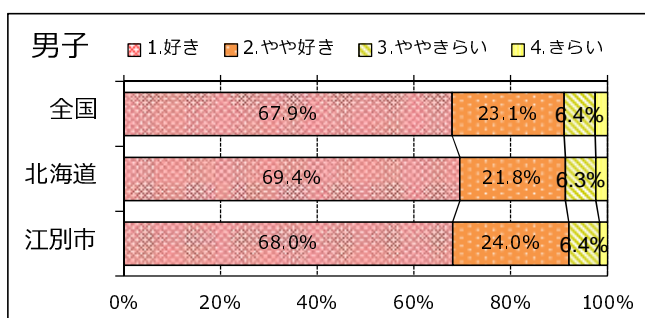
- 運動が「好き」「やや好き」と回答した児童の割合は男子は全国平均とほぼ同程度であるが、本市令和元年度調査結果と比較して男子は2.3ポイント、女子は6.5ポイント下回っている。
- 運動することが「大切」「やや大切」と回答した割合は、男子は全国平均とほぼ同程度となっているが、女子はやや上回っている。本市令和元年度調査結果と比較して男女共に3.1ポイント下回っている。
- 中学校で自主的に運動したいと「思う」「やや思う」と回答した割合は全国平均をやや上回っており、本市令和元年度調査結果と比較して男子は1.9ポイント上回り、女子は0.5ポイント下回っている。
- 体育の授業以外での1週間の総運動時間は、男女共に全国平均を上回っている。
- 運動部やスポーツクラブ以外で運動することは、男女とも全国平均を上回っている。
- 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、運動への意欲を高め、運動機会を増やす取組を推進する必要がある。

※ 全国の平均値、質問結果の本市との差を、次の通り表記しています。

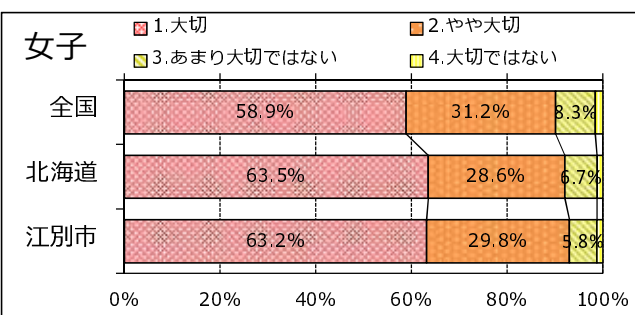
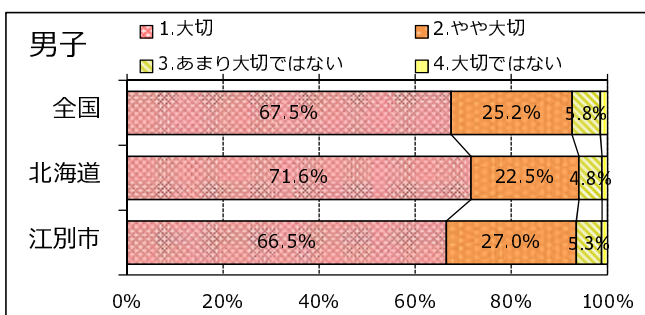
全国の平均値、質問の割合に対し、

- ① 5ポイントを超えて高い…上回っている
- ② 1ポイント超～5ポイント…やや上回っている
- ③ +1ポイント以内…ほぼ同程度
- ④ -1ポイント超～5ポイント…やや下回っている
- ⑤ 5ポイントを超えて低い…下回っている

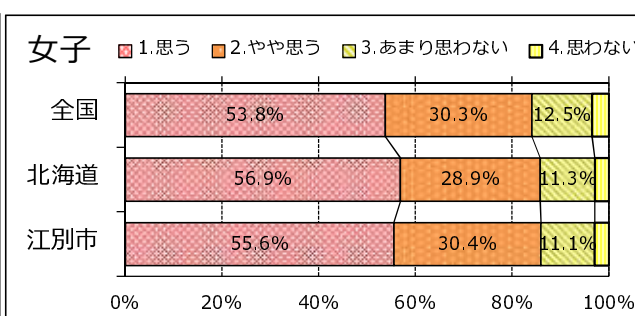
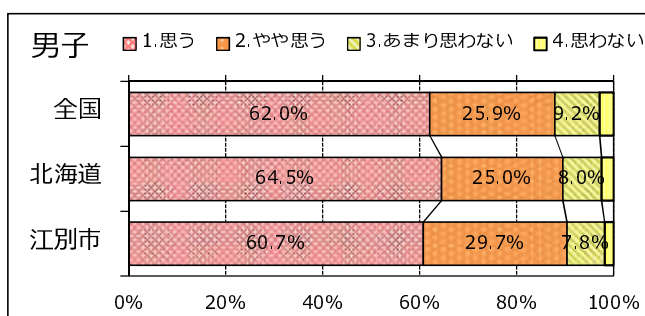
運動が好きですか



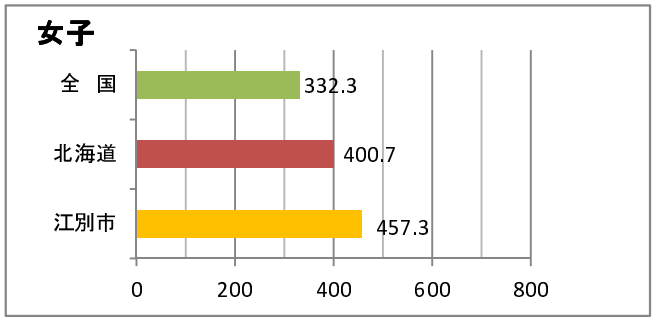
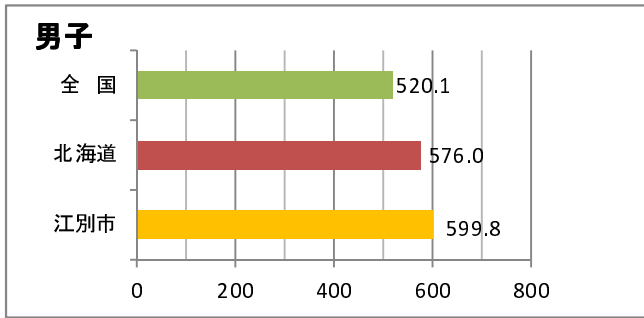
運動することは大切なことですか



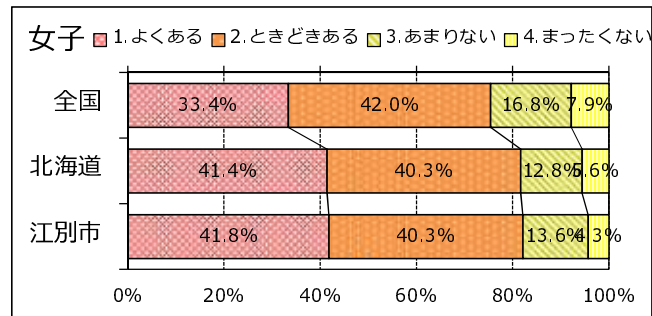
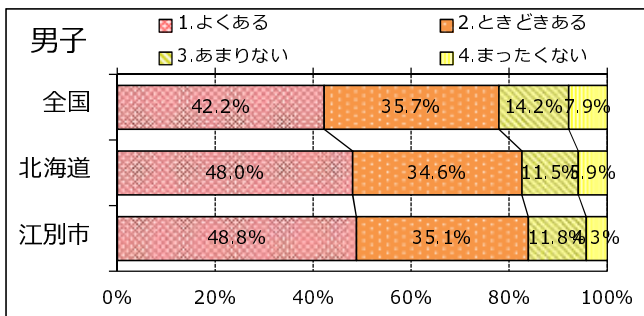
中学校で自主的に運動したいですか



体育の授業以外の1週間の総運動時間



運動部やスポーツクラブ以外での運動



<体育の授業>

○体育の授業が「楽しい」「やや楽しい」と感じている児童の割合は、男女共に全国平均とほぼ同程度となっているが、本市令和元年度調査結果と比較して男子は1.8ポイント、女子は3.6ポイント下回っている。

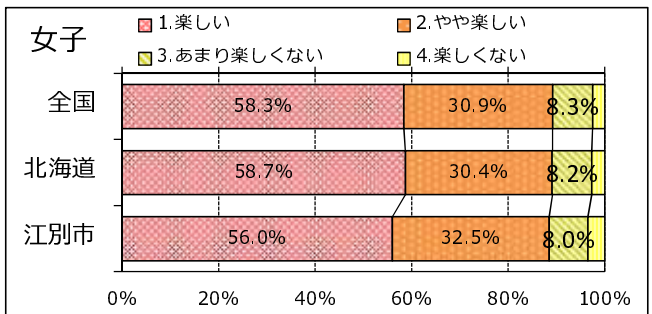
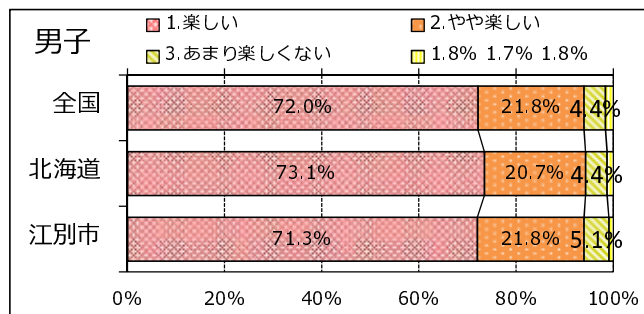
○できないことができるようになったきっかけは、「授業中に先生に教えてもらった」「授業中に自分で工夫した」「先生や友達のまねをしてみた」「友達に教えてもらった」「授業外に自分で練習した」の割合が多く、全国と同様の傾向にある。

○体力・運動能力向上の目標を立てているかについては、男子は全国平均をやや上回っているが、女子はやや下回っている。

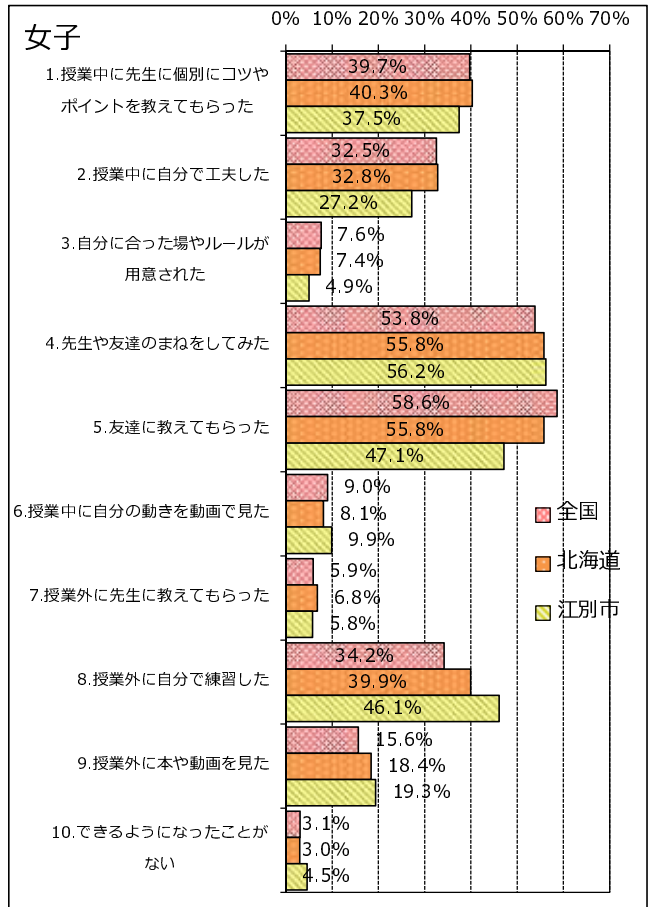
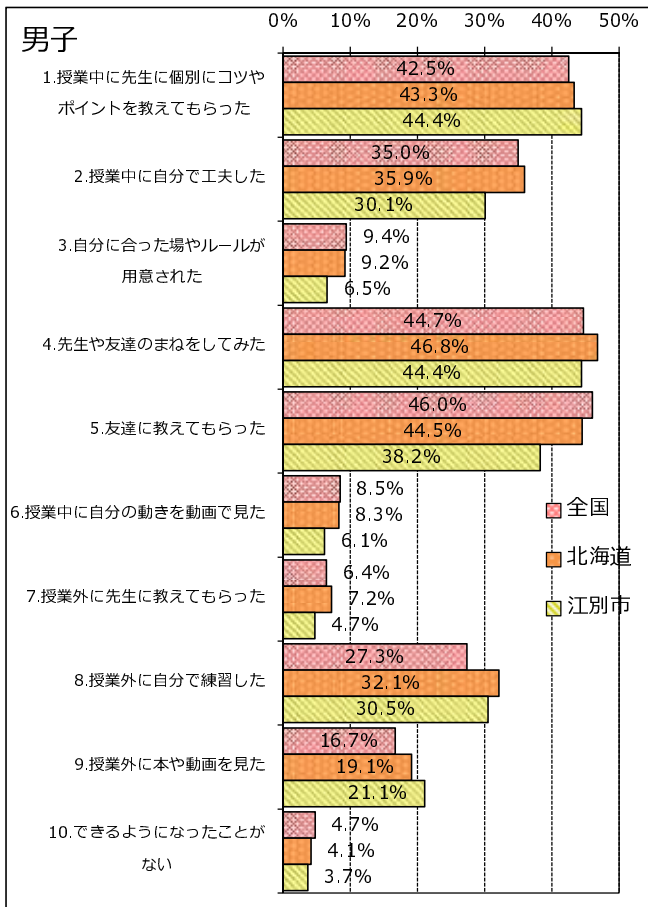
○コロナ前と比べた運動やスポーツをする時間について、全国と同様の傾向にあるが、男子の「減った」は44.4%、女子の「減った」も38.3%となっており、運動への意欲を高め、運動機会を増やす取組を推進する必要がある。

○授業での「目標の提示」や授業を「振り返る活動」について、今後も目的やねらい、振り返りを明確化した授業を行い、授業改善に向けて継続して取り組んでいくことが必要である。

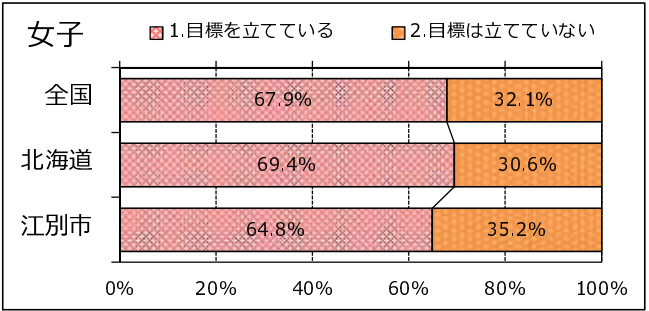
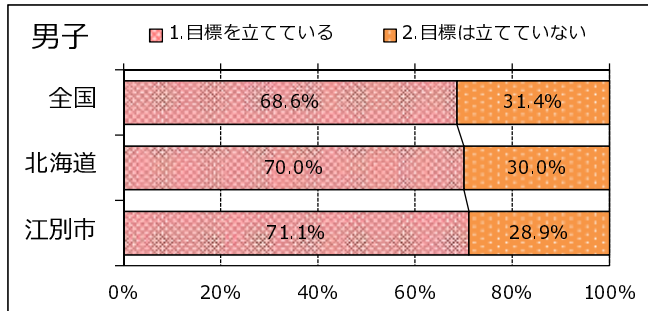
体育の授業は楽しいですか



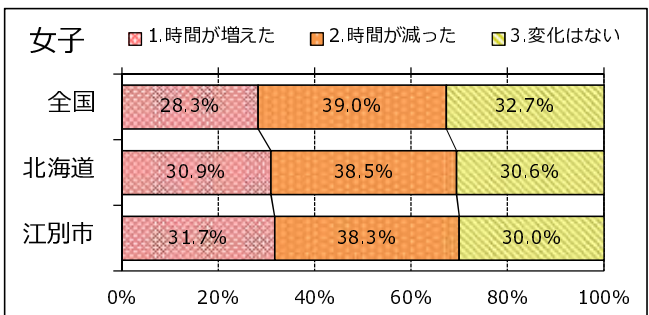
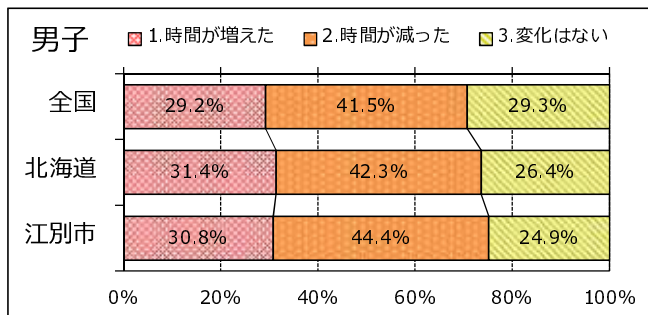
できるようになった主なきっかけは何ですか



体力・運動能力向上の目標を立てている



コロナ前と比べた運動やスポーツをする時間



IV-2 生徒質問紙調査の結果(中学校)

<運動習慣の状況>

○運動が「好き」・「やや好き」と回答した生徒の割合は、男子は全国平均とほぼ同程度で、女子はやや下回っている。本市令和元年度調査結果と比較して、男子は3.5ポイント、女子は4.8ポイント下回っている。

○運動することが「大切」・「やや大切」と回答した生徒の割合は、男女共に全国平均とほぼ同程度で、本市令和元年度調査と比較して、男子は1.8ポイント下回り、女子は2.8ポイント上回っている。

○中学校卒業後も「自主的に運動したいと思う」・「やや思う」生徒の割合は、男子は全国平均をやや下回っており、女子はほぼ同程度となっているが、本市令和元年度調査と比較して、男子は0.2ポイント、女子は4.6ポイント上回っている。

○生徒の1週間の総運動時間は男女共全国平均を下回っており、令和元年度本市調査と比較して減少した。

○運動部やスポーツクラブ以外での運動時間は、「よくある」・「ときどきある」と回答した生徒の割合は男女共全国平均をやや上回っている。

○小学校と同様に、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、運動への意欲を高め、運動機会を増やす取組を推進する必要がある。

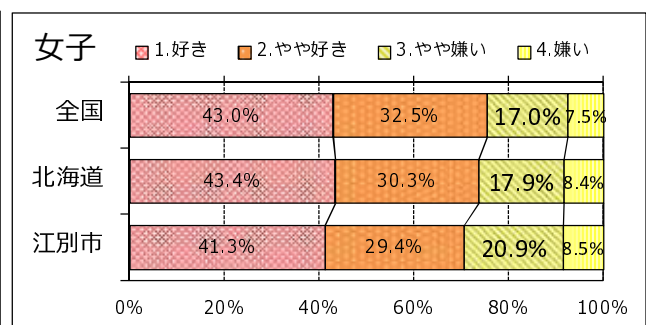
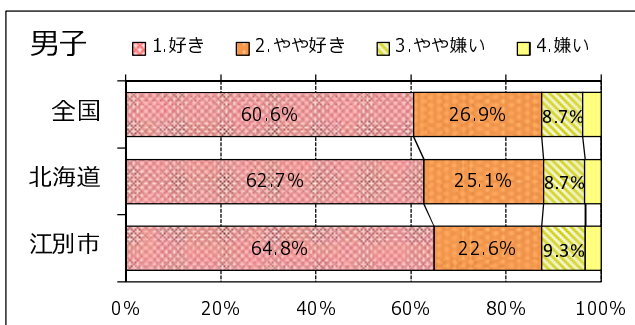
※ 全国の平均値、質問結果の本市との差を、次の通り表記しています。

全国の平均値、質問の割合に対し、

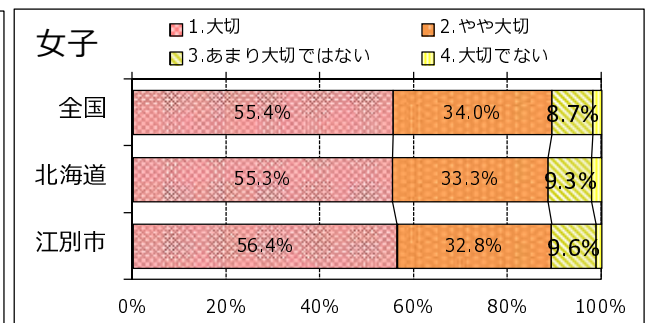
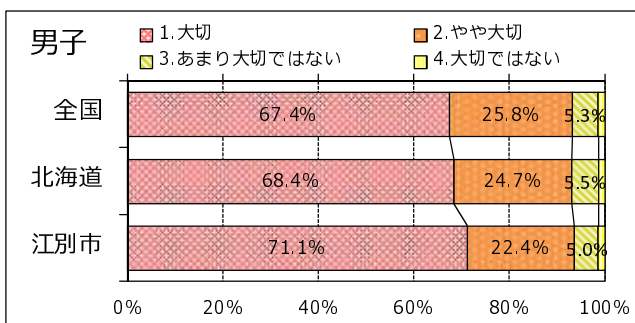
① 5ポイントを超えて高い・・・上回っている ② 1ポイント超～5ポイント・・・やや上回っている ③ +1ポイント以内・・・ほぼ同程度

④ -1ポイント超～-5ポイント・・・やや下回っている ⑤ 5ポイントを超えて低い・・・下回っている

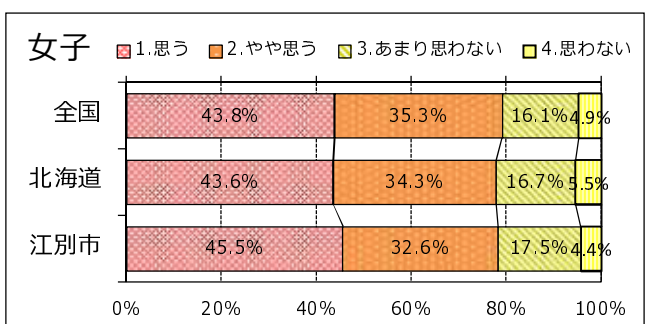
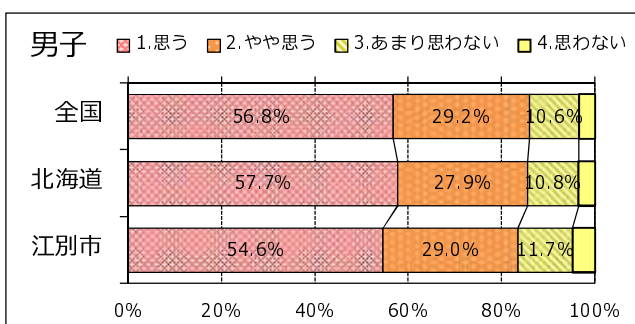
運動が好きですか



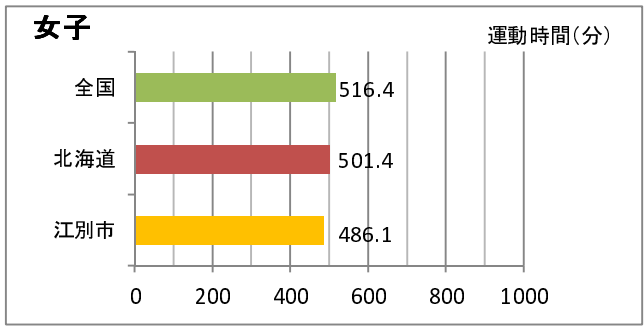
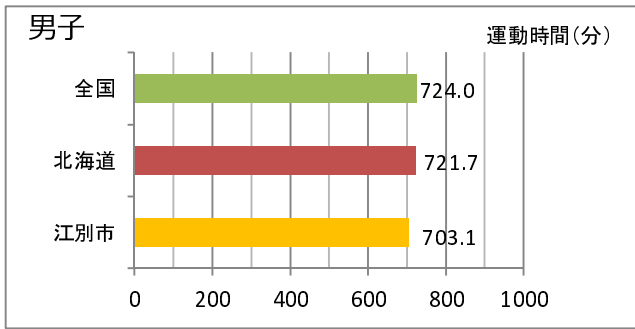
運動することは大切なことですか



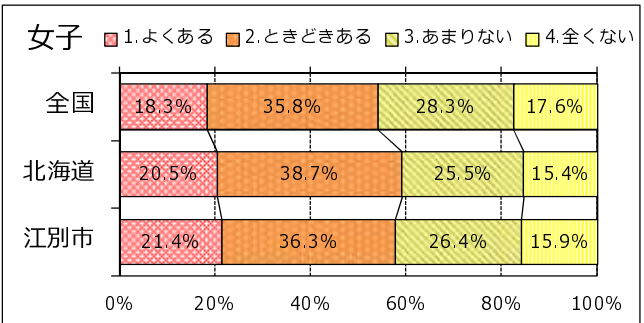
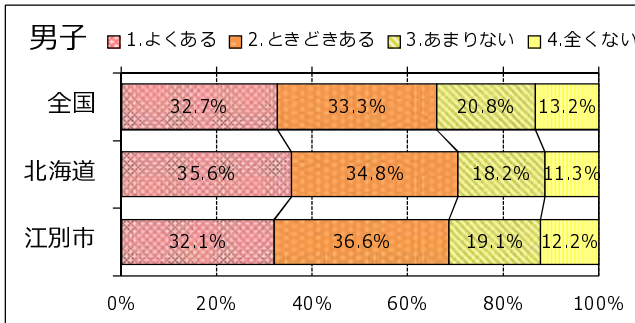
中学校卒業後も自主的に運動しますか



保健体育の授業以外の1週間の総運動時間



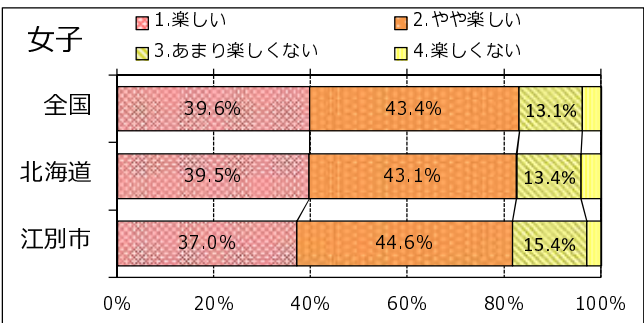
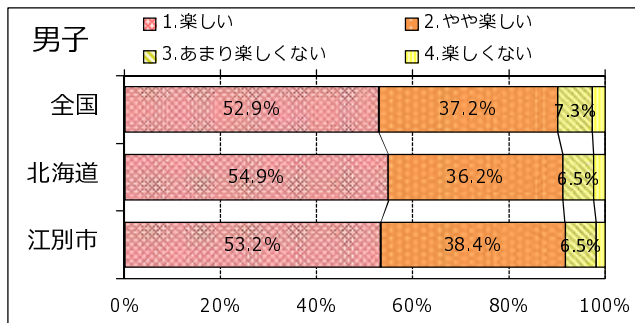
運動部やスポーツクラブ以外での運動時間



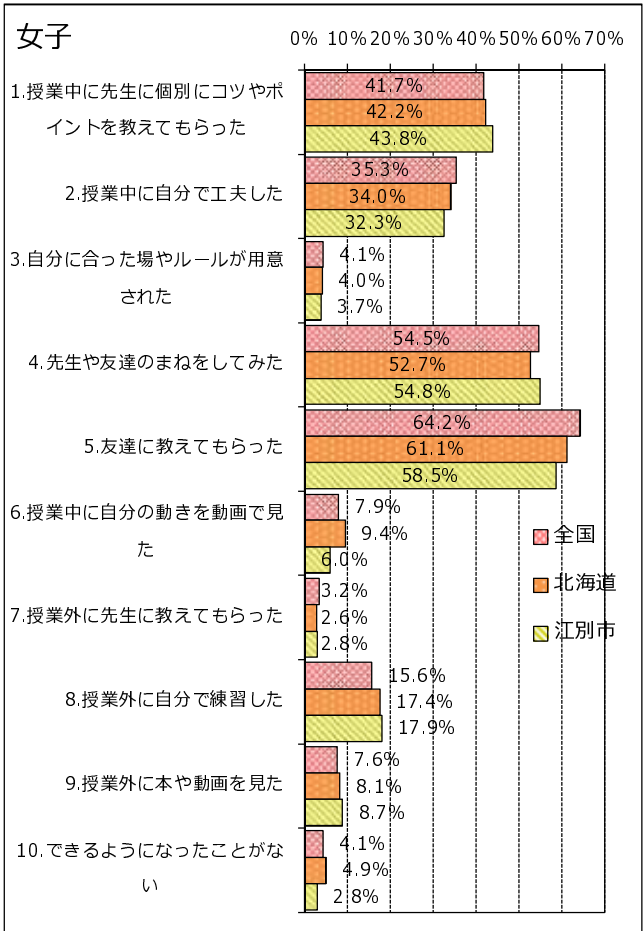
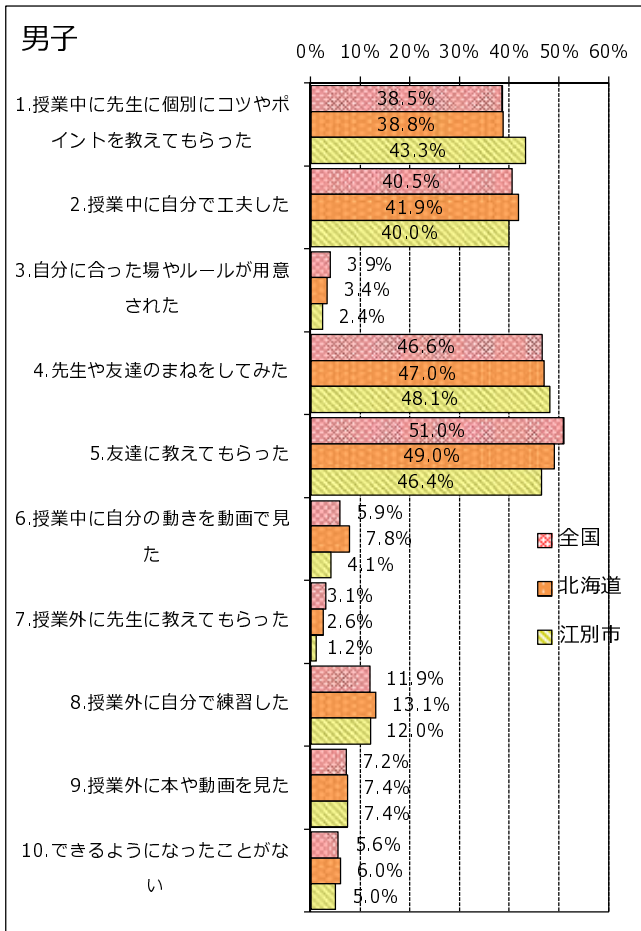
<保健体育の授業>

- 授業が「楽しい」「やや楽しい」と感じている生徒の割合は、男子は全国平均をやや上回り、女子はやや下回っている。本市令和元年度調査結果と比較して、男子は2.2ポイント上回り、女子は3.4ポイント下回っている。
- できないことができるようになったきっかけは、「授業中に先生から個別に教えてもらった」「授業中自分で工夫」「先生や友達のみね」「友達に教えてもらった」の割合が多く、全国と同様の傾向である。
- 体力向上の目標を立てている生徒は男女共に全国平均をやや下回っている。
- コロナ前と比べた運動やスポーツをする時間について、全国と同様の傾向にあるが、男子の「減った」は41.7%、女子の「減った」も39.5%となっており、運動への意欲を高め、運動機会を増やす取組を推進する必要がある。
- 授業での「目標の提示」や授業を「振り返る活動」について、今後も目標やねらい、振り返りを明確化した授業を行い、授業改善に向けて継続して取り組んでいくことが必要である。

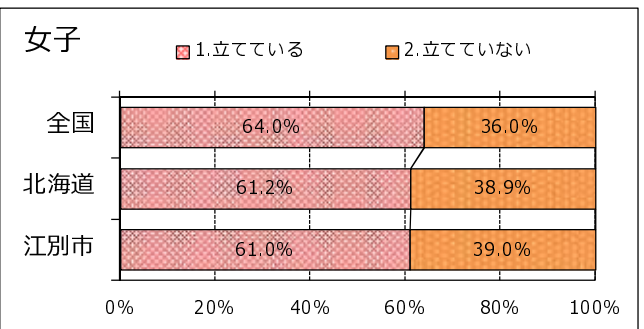
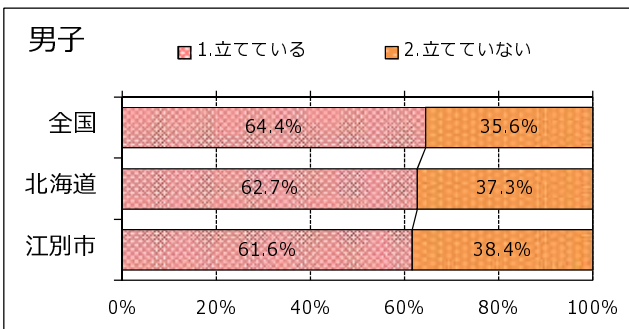
保健体育の授業は楽しいですか



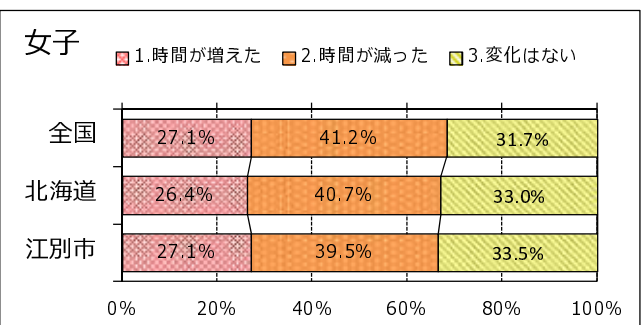
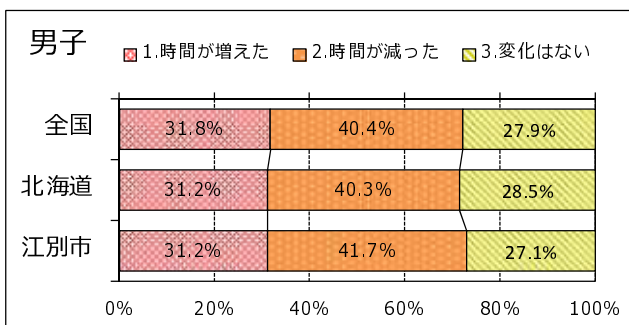
できるようになった主なきっかけは何ですか



体力向上の目標を立てているか



コロナ前と比べた運動やスポーツをする時間



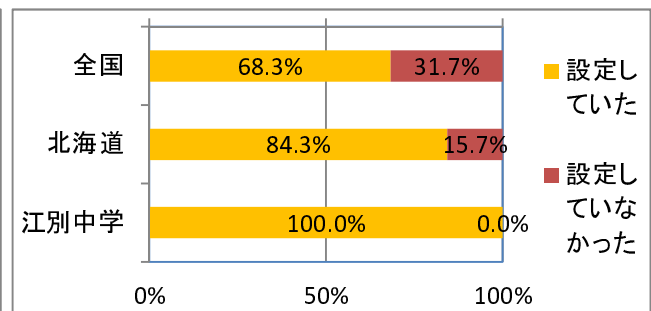
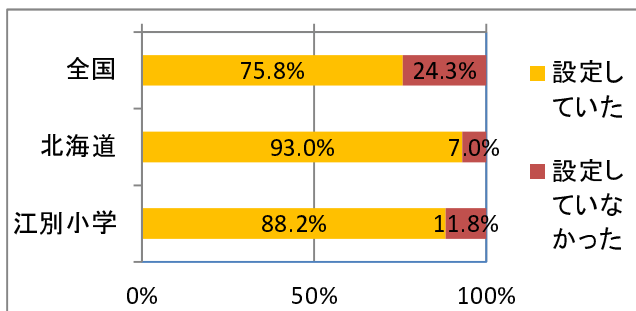
V 学校質問紙調査の結果

<体力の向上に関して>

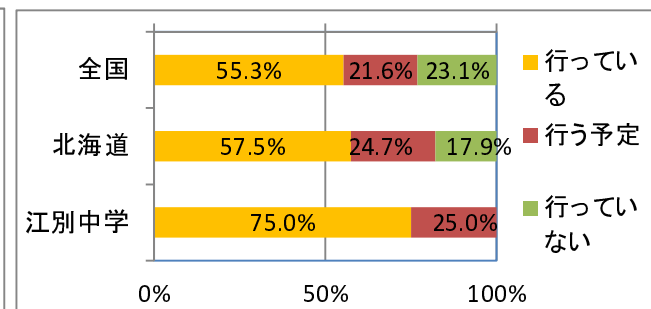
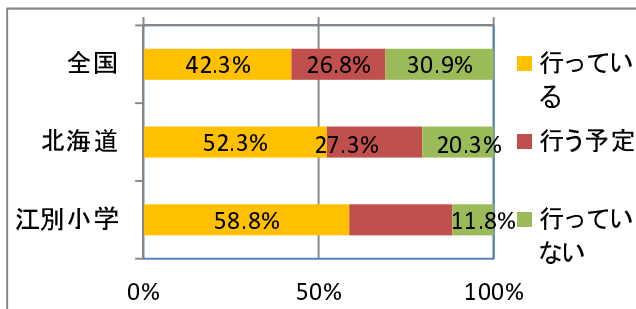
○学校全体で体力・運動能力向上の「目標設定」をしている学校は、小中共に全国平均を上回っているものの、中学校は100%だったが、小学校は88.2%だった。(令和元年度は小中共に100%)
 ○運動やスポーツが苦手な児童・生徒や性別に応じた「取り組みを行っている」学校は、小中共に全国平均を上回っている。
 ○調査結果を踏まえた年間指導計画の「改善を行っている」学校は、小学校は全国平均を上回り、中学校は100%である。
 ○授業以外で体力・運動能力向上の「取組を行っている」学校の割合は、小中共に全国平均を上回っている。
 ○授業の目標の提示や授業を振り返る活動について、小中共に全国平均を上回っている。
 ○今後も、目標やねらい、振り返りを児童生徒が意識しながら学習できるように、さらなる授業改善に向けて継続して取り組んでいくことが必要である。

※ 全国の平均値、質問結果の本市との差を、次の通り表記しています。全国の平均値、質問の割合に対し
 ① 5ポイントを超えて高い・・・上回っている ② 1ポイント超～5ポイント・・・やや上回っている ③ +1ポイント以内・・・ほぼ同程度 ④ -1ポイント超～-5ポイント・・・やや下回っている ⑤ 5ポイントを超えて低い・・・下回っている

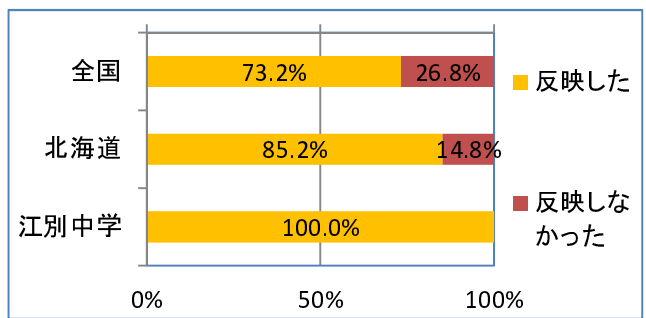
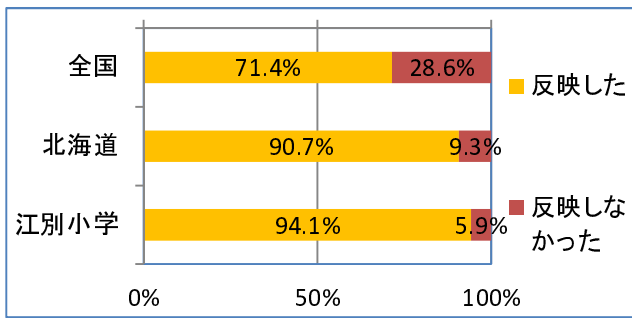
学校全体で体力・運動能力向上の目標設定をしていますか



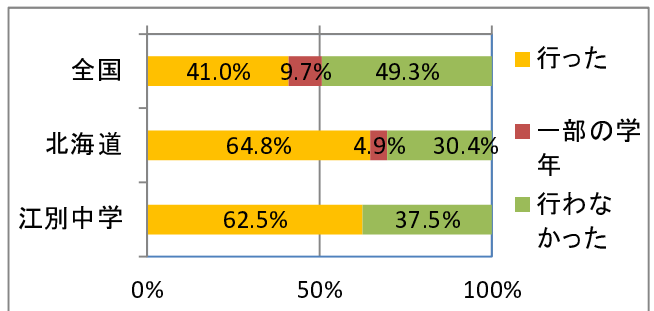
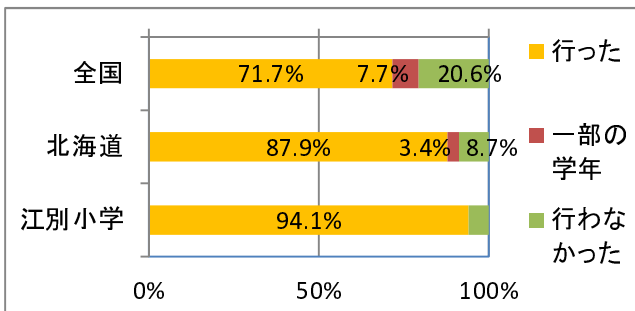
運動・スポーツが苦手な児童生徒や性別に応じた取組を行っていますか



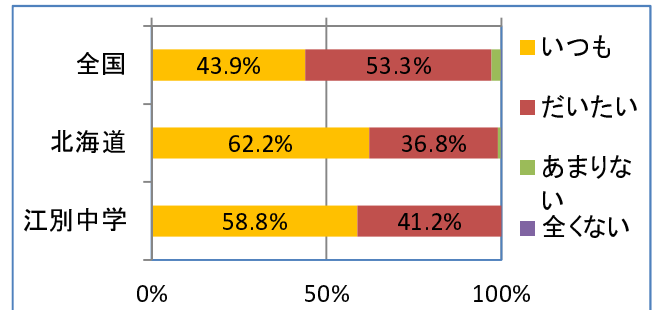
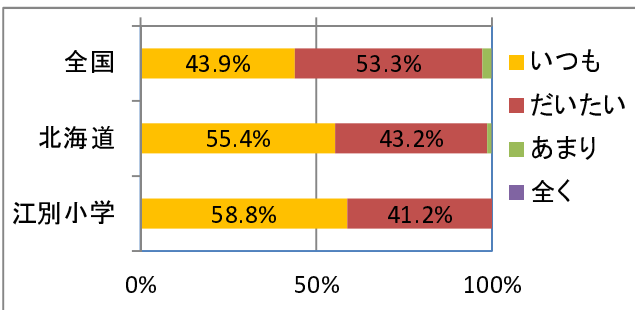
調査結果を踏まえた年間指導計画の改善を行っていますか



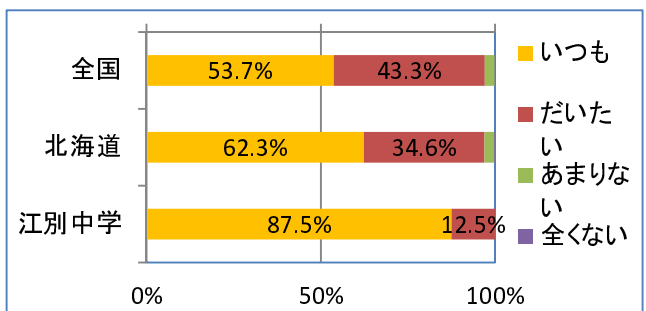
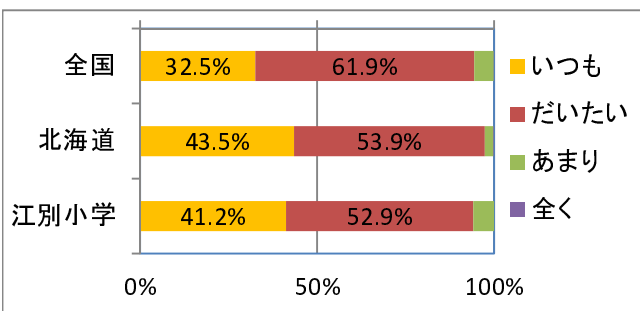
授業以外で体力・運動能力向上の取り組みを行っていますか



授業の目標を児童生徒に示す活動を取り入れていますか



授業を振り返る活動を取り入れていますか



<家庭との連携、啓発に関して>

○体力向上に係る「家庭との連携」について、「体力に関する調査の結果を家庭に連絡している」「生活習慣改善のための資料を配布している」「運動やスポーツを実施することを啓発するための資料を配布する」などを行っている。引き続き、学校から家庭への情報発信を継続し、家庭と連携しながらより効果的な取組を行うことが必要である。

運動やスポーツ、生徒の体力についての家庭との連携(複数回答可)

